

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	名古屋大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナゴヤダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	愛知県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	国内実地研修
	学部・研究科等名	農学部
	担当教職員名・役職	一柳健司教授 矢野勝也准教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	35
	受入企業等数	4
受入企業等名	愛知県農業総合試験場、JAあいち経済連、東海農政局、東栄町	
インターンシップの分類	10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1. 当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1. はい
	1-2. 該当する就業体験	1. 企業等における業務への従事
	1-2. 「3. その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	農業生産活動およびそれを支える国・地方自治体の支援事業の現場を体験する。
要素②	2-1. 当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1. はい
	2-2. 該当するインターンシップの内容	3. 当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 5. 当該インターンシップは、選択必修科目として実施している
	2-2. 「9. その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3. 当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4. 当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	講義・実習で学んだことと農業生産との関連を理解すること。
要素③	3-1. インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1. はい
	3-2-1. 該当する事前学習の内容	1. 学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 4. 学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1. 「5. その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2. 該当する事後学習の内容	1. 日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2. 報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2. 「4. その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3. 該当するモニタリング	3. その他
	3-2-3. 「3. その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	モニタリングは実施していない。
	3-3-1. 事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	学内のインターンシップ研修会への参加を義務としている。
	3-3-2. 事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ報告書の提出、事後報告会(研修受入先担当者臨席)を義務としている。
	3-3-3. モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	モニタリングは実施していない。
要素④	4-1. インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1. はい
	4-2. 該当する教育的効果を測定する仕組み	4. その他
	4-2. 「4. その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	事後レポート、事後報告会。
	4-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事後レポートの提出、事後報告会で2年生に対する成果発表。

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5～9日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	一部でインターンシップ期間3日間
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	JAあいち経済連5日間東海農政局5～9日間愛知県農業総合試験場3日間東栄町3日間 のインターンシップおよび事前・事後研修それぞれ1日
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前・事後研修には受入先担当者が臨席・説明している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/agricultural/pdf/H30syllabus-34.pdf">http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/agricultural/pdf/H30syllabus-34.pdf</a>
問い合わせ先	大学等名	名古屋大学
	担当部署名	農学部教務学生係
	担当者役職名	
	担当者氏名	長坂
	電話番号	052-789-4299
	メールアドレス	nou-kyomu@adm.nagoya-u.ac.jp